

表

青少年に関する相談連絡機関「ユースフラガ」				
内容	相談機関	住所	時間	電話番号
お悩みごとを 身近な場所で 相談に相談 (子ども・若者・保護者) ※予約 (予約時間 10時～21時)	ユースフラガEAST [YsakaEAST]	新井町のちまき センター (電話 02-636)	火 本 本 本 10時～17時 土 10時～20時 日 13時～15時	072-628-6930
	ユースフラガWEST [YsakaWEST]	新井町のちまき センター (電話 05-1028)	火 本 本 本 10時～17時 土 10時～21時 日 10時～12時	080-9607-6061 080-4973-3681
	ユースフラガSOUTH [YsakaSOUTH]	新井町のちまき センター (電話 03-11-13)	月 本 本 本 10時～17時 土 10時～21時 日 10時～12時	072-655-3761
	ユースフラガNORTH [YsakaNORTH]	新井町のちまき センター (電話 02)	火 本 本 本 10時～17時 土 10時～15時 日 10時～20時	072-655-1821
	ユースフラガENTER [YsakaENTER]	新井町のちまき センター (電話 02-11-22)	火 本 本 本 10時～17時 土 10時～15時 日 10時～20時	080-152-14624

  

青少年に関する相談連絡機関 「まずは電話で相談できます」				
内容	相談機関	時間	電話番号	
教育に関する悩み相談 フリーダイヤル	茨城県教育センター 電話教育相談	月～金 8時45分～17時	072-625-7830	
教育に関する悩み相談 フリーダイヤル	茨城県教育センター 「いじめ」ホット電話相談	月～金 9時～17時	072-627-5511 0120-147970	
24時間子どもSOSダイヤル 子ども専用 子どもへの悩み 相談フリーダイヤル	大原府	月～金 9時30分～17時30分 (休)	05-5607-7361 05-5607-7362	
子どもの人権110番 全国共通フリーダイヤル	茨城県	月～金 8時30分～17時15分	0120-007-110	
少年非行等に際する相談、 指導、助言(少年非行相談)	茨城県少年 サポートセンター	月～金 9時～17時45分	072-625-6677	
少年の悩み相談 (青少年相談)	茨城県青少年 サポートセンター	月～金 9時30分～18時	072-621-4114	
犯罪や非行に関する相談 子ども専用相談	茨城県青少年 サポートセンター	月～金 10時～16時	072-620-8310	
子ども虐待に関する相談 子ども専用相談	茨城県青少年 サポートセンター	月～金 9時～17時45分	06-6389-3526 189 (無料)	
児童相談所相談専用ダイヤル 児童相談所相談専用ダイヤル	茨城県子ども サポートセンター	24時間 365日	0570-783-189	
児童虐待相談・通報	茨城県子ども サポートセンター 子ども相談	月～金 9時～17時 土 10時～16時	072-624-8951	
子ども虐待に関する相談 子ども専用相談	茨城県青少年 サポートセンター	月～金 8時45分～17時15分	072-622-5180	
少年非行防止活動	茨城県青少年 サポートセンター	月～金 9時～17時45分	072-622-1234	
相談、サービスの提供や 研修に関する相談 (インターネット相談の トラブル対応)	茨城県青少年 サポートセンター	月～金 9時～16時30分 土 2～4時 日 9時～正午	072-624-1999	
		10時～16時	072-646-5526	

いばらきの青少年 ほっとけん!  
犬人が気づいて声をかけあう関係づくり

茨城県青少年健全育成運動重点目標  
子どものSOS ほっとけん!  
犬人が気づいて声をかけあう関係づくり

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

両面について、背景、タイトル等の色合い変更を検討します。

相談機関について、内容を確認、更新します。

令和4年度(2022年度)版  
令和4年(2022年)3月現在  
という文言に更新します。

裏

青少年健全育成のための行事

SOSをキャッチしたら

子どもの発するSOSのサイン

こんなサインがあります

- 悩みやストレスが大きくなると、子どもたちの生活や行動に様々なサインが現れます。
- 何気ない、日常生活や体調、行動が変わった、と感じたら、それは子どものSOSのサインかも知れません。

まずは身近な大人の声かけから

子どものSOSのサインをキャッチしたら、まずは子どもへの「声かけ」や「言葉かけ」から始めましょう。

一人だけで考えず、家族や地域の大人で話してみることも子どもを支える力になります。

家庭では

- 「おはよう、おやすみ」「いってらっしゃい、お帰りなさい」などの毎日の言葉かけが大切です。また、家族そろって食事をとることや規則正しい生活をするなどで、子どものSOSに気づきやすくなります。

学校や地域では

- 出会ったときのあいさつや声かけで、ふだんの関係づくりを心がけましょう。
- 気になる発言や行動があれば、保護者や周りの友達、活動に関わる指導者・先生などに聞いてみることも大切です。

インターネット内では

- ネット世界では、自分自身で発信した内容が、意図せず拡散されることがあります。
- ネット世界では、自分自身で発信した内容が、意図せず拡散されることがあります。
- ネット世界では、自分自身で発信した内容が、意図せず拡散されることがあります。

いま伸びよう 茨木の未来をひらく青少年  
見守ろう わが子 ひとの子 みんなの子

いくつかの写真を更新します。

ネット世界に関する文言の追加等を検討します。